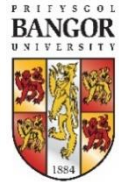




City of Bangor Council



**Shizuoka University of Art and Culture  
at  
Bangor University**

*Study Abroad Programme 2024*



# Study abroad Programme in Bangor

## We are looking forward to meeting you!



親元を離れ、海外で生活するのは誰にとっても期待と不安がつきまとうものです。言語も文化も違う土地では、見るもの聞くものすべてが真新しいように感じられ、いろいろな事を再発見することができるでしょう。我々はバンガーへ来られる学生の皆さんの様々な期待や不安に適切なアドバイスを与えられると信じています。皆さんの人生で忘れることのできない1ページをつくるお手伝いができることを誇りに思います。

英国立バンガー大学 日本研究所  
所長 砂田恭美

### Bangor, Wales

バンガー市はウェールズ北西部に位置する、山と海に囲まれた静かな街です。ウェールズは英国を形成する4つの国のうちのひとつで、独自の文化を大切に守り続けており、道路標識、看板、ポスター等はすべて英語とウェールズ語の2カ国語で表示されています。ウェールズの旗にあるドラゴンのように、ウェールズ人は誇り高く、そしてとても温かい心を持っています。ウェールズでは1995年5月に約600年ぶりに地方議会が復活し、ラグビーのワールドカップも開催されたほか、映画界、音楽界でもウェールズ出身の多くのアーティストが活躍しているなど、今ウェールズは、大きく注目されています。



### Host Families

バンガーのホストファミリーは日本人の学生を過去に何人も受け入れた経験を持つ家庭が多く、英語を勉強している学生をよく理解しています。皆さんが楽しく、充実した留学生活を送るために様々な面で協力してくれるでしょう。

\*ここでご紹介する家族はあくまでも参考のため、必ずこの家庭に滞在できるとは限りません。皆さんの健康面や趣味を考慮しながら、ご希望に添ったホストファミリーに出会えるよう努めてまいります。



帰国日の1枚。

家族のように迎えていただきました。



子ども達とお庭の机で食事を楽しみました。



子ども達も一緒にトランプをしました。

### Programme

研修中は、バンガー大学とダブリン大学トリニティカレッジ教養学部（トリニティ・ファウンデーション・プログラム）の教員が、英語の教科をはじめとした多方面にわたる授業をおこないます。そのほか、周辺の世界遺産や観光名所をまわるフィールド・トリップや、バンガー大学からオフィシャルトークを頂く機会などが設けられています。

バンガー大学日本研究所の留学プログラムは、英国短期研修をはじめ、外務省主催日本祭のバンガー市での開催（2001、2003年）など、バンガー市の文化・学術分野への貢献が高く評価され、2016年にバンガー市公認プログラムに認定されました。それを受け、修了者には、バンガー市の紋章が入った修了証を発行します。（右下）



Trinity College Dublin, Bangor University  
及び、バンガー市の紋章が刻印された修了証

# WELCOME TO BANGOR UNIVERSITY

バンガー大学は、英国で一番歴史が長い大学の一つで、1884年にウェールズで最初に設立  
が認められ、翌年の1885年に英国王室に認定されました（Royal Charter）。ケンブリッ  
ジ大学卒業で数年前まで環境弁護士としても活躍していたSir George Meyrick 准男爵を総  
長に、コンピューターサイエンスと数学の世界で活躍され英国王立工協会に認定されて  
いるEdmund Burke博士を学長とする、140年の歴史と伝統をもつ大学です。

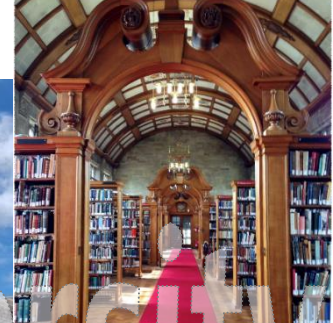
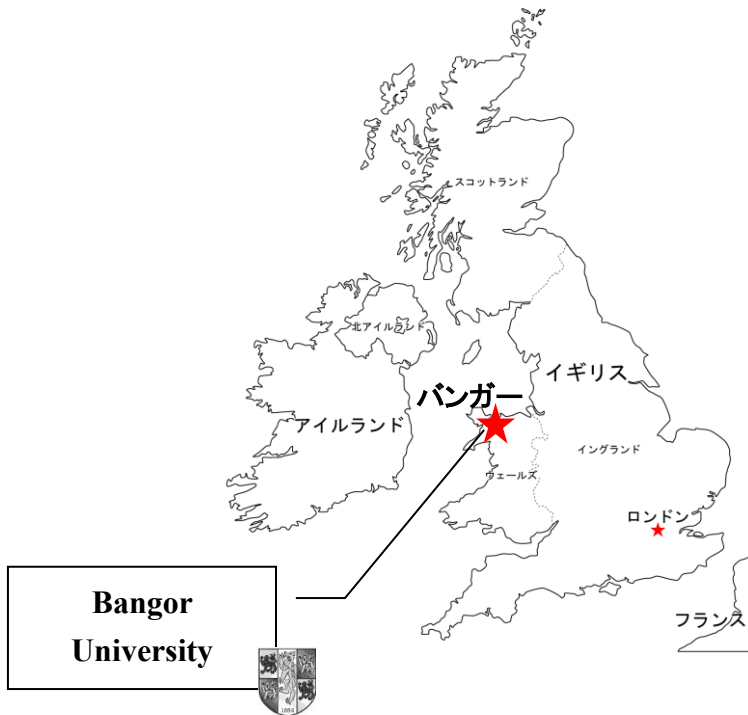
海洋生物学は世界のトップレベル

バンガー大学は、北ウェールズの海岸沿いにあるバンガー市にあります。

専門課程はバラエティに富んでいて、中でも農学、森林学、環境学、動物学、心理学、犯罪  
学、スポーツ科学などが有名です。特に海洋生物学は世界一の研究レベルを誇ると言われて  
います。また、ほとんどの学士号が3年で取得できます。

学生の満足度—全英1位

2006年度Sunday Times紙における学生の満足度調査結果で全英1位に輝きました。その後  
も、ほぼ毎年ウェールズでトップクラスを継続しています。バンガーの学生たちは温かな地  
元の人々に囲まれ、のびのびと生活する環境が整った、学園都市として一番すごしやすい、  
最高の環境で学んでいるといえるのではないのでしょうか。





# LESSONS

Study Abroad Programme では、ダブリン大学トリニティカレッジ教養学部（トリニティ・ファウンデーション・プログラム）の教授陣\*が、多彩な授業を行います。これには、英語教科だけでなく、メディア学や専門分野プログラムも含まれます。日本人学生の英語力の弱点を熟知した先生のもと、“英語で”学ぶ面白さを味わいましょう！

\*一部授業は、バンガー大学の教員により実施されます。

## English Lessons

フィールド・トリップ先についてあらかじめ学んだ後でトリップに出かけます。インプットに加え、トリップ先では実際に自分の目で見ながら学習したことをアウトプットすることでより鮮明に記憶に残るよう、学習力向上に取り組んでいます。そのほか、スピーキングや発表の技能を学ぶプレゼンテーションの授業などが含まれます。



## Reading

英文のエッセイや詩の読解に取り組めます。先生が投げかける作中のポイントをアクティブに読み解いていきます。英語で行間を読む-Read between the lines-の感覚を掴むことができます。



## Discussion

様々なテーマで意見を交換します。相手の意見に英語でこたえることは、容易なことではありませんが、同年代の学生と議論することでその壁を破っていきましょう。テーマ次第では日本と英国で意見が分かれることもしばしば。国柄による着眼点の違いも学んでいきましょう。

※年によっては、現地学生やネイティブの方のご参加が難しい場合があります。

## Welsh Lesson

ウェールズの第一言語、ウェールズ語について学びます。歌うようなのびやかなアクセントが特徴のウェールズ語。授業で学んだフレーズをバスの運転手やホストファミリーの方々に伝えてみてください。ウェールズ語がいかに大切な文化として人々に愛されている言語であるか、彼らの表情から感じ取ることができます。

## Media Studies

英国には現在もなお階級思想が根強く残っています。なかでも特徴が分かりやすく表れているイギリスの新聞を比較し、その要因を探っていきます。



## 専門分野プログラム

大学で日頃学んでいる分野に特化した授業や、近郊施設の見学などを行います。興味のある分野を事前に伺い、それに応じた内容の授業を実施しています。

### 《2023年度 実施プログラム》 ※夏期に実施した内容

- 現地の小学校で生徒へ日本文化を紹介 ● 名誉教授による経済学講義 ● 現役の国会議員による講義
- 英国伝統のお菓子作り ● IELTS スキル入門 ● 博物館を訪れるアートトリップ ● アクセサリー作り
- 英文履歴書の書き方指導 ● 地元の専門家によるギャラリートークを交えての美術館・博物館見学
- ビジネス学(マーケティング・SDGsなど)入門



※ 年度により、実施科目や授業内容に多少の変更がありますことをご了承ください。

# FIELD TRIPS

フィールドトリップでは、バンガー近郊の都市や、世界遺産、国立公園、ナショナルトラストなどに登録されている観光地を訪れます。



## FIELD TRIPS

2023 年度フィールドトリップ先

- Caernarfon Castle (カナーボン城)
- Bangor Cathedral (バンガー大聖堂)
- Penrhyn Castle (ペンリン城)
- Slate Museum (スレート博物館)
- Conwy - Plas Mawr (コンウィー - プラスマウワー)
- Conwy - Conwy Castle (コンウィー 城)
- Llandudno (ハンディドゥノ)
- Chester (チェスター)

★上記は、2023 年夏期実施のトリップスケジュールです。年度によって、行き先の変更があります。



←カナーボン城

天空の城ラピュタのモデルとなったお城。世界遺産に登録されています。



←スレート博物館

スレートは現在でも屋根に使用されるなど、重要な資源の一つです。採石場を見学します。



←ペンリン城

スレート産業で財を成したペンリン卿が建てたお屋敷。庭、石膏、彫刻、家具、絵画など、見応えがあります。



←コンウィー

エドワード1世によって造られたコンウィー城があり、街全体が世界遺産に登録されています。



←ハンディドゥノ

海浜保養地の女王と呼ばれるリゾート地。「不思議の国のアリス」は、作者が、アリスのモデルになった少女やその家族と、静養のため頻繁に訪れていたこのハンディドゥノで構想を得た物語といわれています。

チェスター →

減少しているチューダー建築様式が美しく残っている、英国でも数少ない街のひとつです。毎日多くの観光客でにぎわうショッピング街や荘厳な大聖堂を取り囲む城壁は、街全体を眺望できる散歩ルートになっています。



←プラスマウワー

権力者 Robert Wynn さんが、10 年かけて作り上げた 500 年前のお屋敷です。日本では戦国時代。建物内部は使用されていた当時のまま保存しており、その当時の人々の様子がうかがえます。

□ その他のバンガー近郊の都市や観光名所などを訪れることもあります。年度によって行き先を変更する可能性がありますことをご了承ください。

## Q & A

お問い合わせを多くいただいた質問をまとめています。ご参照ください。

Q. バンガーはどんなところですか。

A. バンガーは、豊かな自然に恵まれた平和で静かなウェールズの街です。犯罪率は英国の中でも極めて低く、治安の良い町として知られています。ウェールズ語と英語が人々の生活に根付き、その文化を大切に継承していることから、2か国語を学ぶ学生にもオープンで友好的な環境が保たれています。地元の人々は親切で心の温かい人ばかりなので、海外での生活が初めての人でも暮らしやすい所です。

Q. 日本からの同行者はいますか。

A. 基本的に同行者はつきませんが、飛行機の乗り継ぎや手荷物について、及び英国入国手続きに関する情報はすべて事前にお伝えしますので、安心してご参加いただけます。

Q. 英会話力はどのくらい必要ですか。

A. 当プログラムの目的は英語力を強化することにあります。プログラム参加時に英語力に不安を感じる必要はありませんが、渡英前にホームステイ先で役立ちそうな簡単な日常会話や単語を身に付けておくとういでしょう。また、携帯用の英和・和英辞書や電子辞書を持参されると大変便利です。

Q. バンガーには日本語を話せるスタッフがいますか。

A. 当バンガー大学日本研究所には日本人スタッフがおり、研修中、常時様々な面でサポートをしております。研究所は英国時間の午前9時から午後5時まで【日本時間午後5時～午前1時(サマータイム)】開いております。また、研修開始時に配布する緊急連絡先には、日本人スタッフの電話番号を記載しております。ご質問やご不明な点などございましたら、お気軽にご相談ください。

Q. どんな先生がどんな授業をしますか。

A. 当コースでは、英語教授経験を豊富に積んだ実績のある先生のもとで勉強をします。先生方は日本人の英語学習における弱点に精通しておりますので、短期間で語学力を向上させることができます。授業はアットホームな雰囲気、先生が常に質問や疑問を投げかけることで、教員と学生が参加しあう相互的な授業環境が作られています。日本では体験できない、明るく、楽しく、活気ある授業となるでしょう。(別紙「Study Abroad Programme Timetable」より、前年度の授業例を見ることができます。)

Q. 現地でケガや病気になった場合などの医療体制はどうなっていますか。

A. 診察が必要な場合、日本人スタッフが同行して現地の病院を受診します。万が一に備え、各自で必ず海外旅行保険にご加入ください。発生した診察料や薬代が保険補償内ですと、帰国後所定の手続きののち、保険会社より保険金が支払われます。ただし、適切な保険にご加入されていない場合、参加者の不注意による保険対象外のケガや病気、事故等で補償がおりない場合などは当方で一切責任を負いかねますことをご了承ください。

※在籍大学で、皆様同様の海外旅行保険にご加入いただく場合がございますので、学内担当者にご確認ください。また、当方で紹介することも可能ですのでご相談ください。

Q. ホームステイ先はどんな家庭ですか。

A. 滞在先となるホストファミリーは、過去に日本人学生を受け入れた経験のある家庭が多く、日本の文化や言語に関心をもつ親切で明るい家庭ばかりです。渡英前に記入していただくアンケート用紙をもとにホストファミリーを決定しますが、希望と多少異なる場合がありますことをご了承ください。また、数に限りがありますので、他校の学生と一緒に1家庭につき2~3名でホームステイをしていただくことや、1部屋に2人で滞在いただく可能性があります。また、大学寮に滞在する場合があります。その場合は、必ず事前にお知らせします。

Q. 研修の修了証などはもらえますか。

A. 研修中の授業態度と最終テストの成績から、研修を問題なく修了した者には、修了証を授与します。2016年、バンガー大学日本研究所の留学プログラムは、バンガー市の文化・学術分野への貢献が認められ、バンガー市認定プログラムに認可されたことから、修了証には当日本研究所が属するバンガー大学やダブリン大学トリニティカレッジの紋章とともに、バンガー市の紋章が刻印されています。

Q. イギリスポンドはどのように準備したらよいですか。

A. 安全性と利便性を考慮すると、現金と、Visa や MasterCard 等のデビットカード・クレジットカード等(ただし、JCB カードは使えないところがあります)で用意するとよいでしょう。カードの利用手数料や、海外での利用やオンライン決済の可否は各自、カード会社にお問い合わせください。また、海外の ATM から現金を引き出す(=キャッシング機能を利用する)ことができない設定となっている場合があります。併せてご確認ください。

ただ、小さな商店やバスでは、カード支払いをする機械がなく使用できない場合があります。現地の銀行や郵便局で両替可能ですが、待ち時間などあり、時間を要する可能性がありますので、出来るだけ日本で両替しお持ちいただくようお願いします。現金が必要な場合には、日本人スタッフが両替所まで同行しますので、ご安心ください。また、カードの準備について、I.F.U へご相談いただくことも可能です。

Q. 平日のランチ代・バス代と個人のお小遣いとして、どのくらいの金額を準備すると良いですか。

A. 個人差がございますが、平日のランチ代は3週間で約14,000~22,000円です。バス代はステイ先により異なりますが、3週間で48~60ポンド(\*日本円で約8,700~10,800円)です。また、お小遣いは、平均で約50,000円ですが、休暇を利用して2名以上での個人旅行に行く場合には、交通費、宿泊費用などがかかります。

\*ポンド=180円で計算

Q. 旅行代金は、どのような方法で支払うのですか。

A. 研修費用は、一次・二次手続きに分かれています。英国への海外送金になり、ご利用の銀行や郵便局でお手続きいただきます。詳しい納入方法につきましては、申し込み後にご案内いたします。尚、海外送金に際し、マイナンバーカードもしくは通知カード+顔写真付きの身分証明書の提示が必要になります。前もって、手続き銀行にお問い合わせいただくことを強くお勧めします。航空券費用等はお出発の3週間前までに旅行会社(日本国内)へお支払いいただきます。詳細は募集要項をご確認ください。

Q. 一旦納入した旅行代金の返済は可能ですか。

A. 研修費用は、当方にお支払いいただきますが、第一次手続金は返金されません。第二次手続金に関しては、キャンセル日に応じて、一部返金しております。旅行会社にお支払いいただく航空券費用等について、また、返金規定詳細は「実施方針、キャンセル規定について」をご確認ください。

Q. 英国入国の際に注意しなければならないことはありますか。

A. バンガー大学日本研究所/ダブリン大学トリニティカレッジ教養学部が主催するこのプログラムでは、英国入国時に必要なプログラム入国レターが大学から発行されますので、問題なく入国していただけます。尚、日本国籍以外のパスポートをお持ちの方は、ビザ申請が必要な場合がありますので、可能な限り早めにお申し出ください。

※2024年3月現在の情報です。最新の情報、そのほかご不明な点等ございましたら、I.F.Uまでお気軽にご相談ください。



# 英国立バンガー大学日本研究所 / トリニティ・ファウンデーション・プログラム

## 静岡文化芸術大学 2024年度 夏期短期留学プログラム

期間: 2024年9月1日(日)～9月22日(日)

**○一次募集締切 5月1日(水) 午前中**

募集締切日: 5月14日(火) 午前中 厳守

**\*希望者が5名を超えた場合、抽選で参加者を決定**

※学内締切を別日に設けている場合がございますので、学内担当者にご確認ください。

申込方法: 『2024年度夏期英国研修プログラム 申込用紙』を学内担当者にご提出ください。

旅行代金: 549,000円

### 旅行代金内訳:

	合計	詳細
研修費用	312,000円	授業料(教材費込)、バンガーでの滞在費、フィールドトリップ費用など
航空券費用等	237,000円	羽田空港～マンチェスター空港往復航空券:223,000円 マンチェスター空港～バンガー市往復交通費:14,000円

### ●旅行代金に含まれるもの

授業料(教材費込み)、羽田空港～マンチェスター空港の往復航空運賃、マンチェスター空港～バンガー間の送迎運賃、バンガーでの滞在費(平日2食・週末3食込)、フィールドトリップの費用(交通費・入場料等)

### ●旅行代金に含まれないもの

パスポート取得費、平日昼食代、個人のお小遣い、燃油特別付加運賃・国際観光旅客税・空港税・空港施設使用料、飛行機を除く日本国内での交通費、現地での通学費、海外旅行保険料、個人旅行費、航空手荷物超過料金

\* 燃油特別付加運賃・国際観光旅客税・空港税・空港施設使用料は、当時のレートで、航空券費用等お支払いの際に請求させていただきます。2024年3月時点では、99,030円です。

\* 英国空港付近で前泊または後泊の必要が生じた場合、宿泊先の手配は当方にて行います。宿泊費用は、研修費用に含まれておりません。

### 振込み日程:

#### 【研修費用】

5月31日(金) 第一次手続き(デポジットとして50%) 6月14日(金) 第二次手続き(残りの金額)

\* 一旦納入された第一次手続き金については、一切返金いたしかねます。

\* お支払いは英国への送金となります。航空券費用等は日本国内の口座です。\* 第一次手続きの際に研修費用全額を一括納入することも可能です。

#### 【航空券費用等 他】

航空券費用等及び燃油特別付加運賃・国際観光旅客税・空港税・空港施設使用料につきましては、ご出発の約1ヶ月前にI.F.Uから請求書をお送りしますので、ご出発の3週間前までに旅行会社(日本国内)へお支払いいただきます。ご出発の約15日前に発券致します。

### 注意事項

・I.F.Uから請求書を受け取り次第、速やかにご入金ください。

・ご出発3週間前の時点で、万が一入金の確認が取れない場合は、航空券の発券が補償できない可能性があります。

### 返金規定:

#### 【研修費用返金規定】

※6月27日(木)以前の辞退の場合は、研修費用第二次手続き金の80%を返金いたします。

※6月28日(金)以降の辞退の場合は一切の研修費用を返金致しかねますことをご了承くださいませ。

### 【航空券費用等返金規定】

※ご入金後～航空券発券前までのキャンセルの場合、航空券費用等＋燃油特別付加運賃・国際観光旅客税・空港税・空港施設使用料の合計金額より 5,000 円を差し引いた金額が返金されます。(旅行会社手数料)

※発券後のキャンセルの場合、航空券費用等＋燃油特別付加運賃・国際観光旅客税・空港税・空港施設使用料の合計金額より 35,000 円(航空会社払戻手数料 ¥ 30,000 + 旅行会社手数料 ¥ 5,000)を差し引いた金額が旅行会社より返金されます。(上記は予定ですので、変更になる場合もございます。)

※戦争・テロ・天災・感染症のパンデミックなどの不可抗力が理由で、やむを得ずフライトスケジュール、研修日程、また航空会社の変更がある可能性があります。その際は、旅行代金を見直させていただく場合もございます。可能な限り、皆様に影響が及ばないように対応致しますので、ご理解いただけますと幸いです。

※急激なレートの変動により、旅行代金を見直させていただく場合もございます。

※記載の内容は、2024年3月18日時点の情報になります。日本・英国の入国制限および滞在中の制限措置は変更されており、それに伴って英国研修の方針も見直される場合があります。研修実施に関わる政府の方針に変更があった場合は随時お知らせいたします。

**募集人員：** 33名 (最少催行人数 25名)

※応募者が募集人員を上回る場合、貴学にて選考をお願いする場合があります。

**滞在先：** 基本的にホームステイとなりますが、数に限りがある為、場合によっては1家族につき2～3学生、また1部屋2人で滞在いただく可能性があります。大学寮にて宿泊をする可能性もあります。ホームステイ先は出発前のアンケートを基に斡旋されます。

**実施内容：** 英語力強化と英国文化体験。予定として、週あたり約15～20時間の授業を実施。フィールドトリップとしてバンガー近郊の都市や観光地を訪れます(7～8カ所予定)。

※内容が変更になる場合もございます。

### スケジュール(予定)：

9月1日(日)	羽田空港発		
	羽田 — イスタンブール	TK199 便	21:55—5:15 +1
9月2日(月)	イスタンブール — マンチェスター	TK1993 便	7:40—9:55
	到着後貸し切りバスにてバンガーへ。ホストファミリーと対面。		
9月3日(火)	オリエンテーション・ガイダンス		
	授業開始		
	フィールドトリップ		
	プロジェクト		
9月20日(金)	クロージング・セレモニー		
9月21日(土)	貸し切りバスにてマンチェスター空港へ。		
	マンチェスター — イスタンブール	TK1996 便	17:20—23:20
9月22日(日)	イスタンブール — 羽田	TK198 便	2:20—19:25
	羽田空港到着		

\*フライトスケジュールは、2024年3月現在の暫定スケジュールとなっており、航空会社の事情により変更の可能性があることをご了承くださいませ。また、航空会社に変更になる可能性もございます。

※記載の内容は、2024年3月18日時点の情報です。

## Study Abroad Programme Timetable (短期研修)

	9:15-12:30		12:30-14:00 Lunch Time	14:00-16:00
<b>Mon</b>	9:15-10:45 <b>British History and Culture</b>	11:00-12:30 English Lesson <b>Caernarfon Castle and Slate</b>		14:00-16:00 <b>Media Studies</b>
<b>Tue</b>	10:00-16:00 Field Trip <b>Caernarfon Castle and Slate Museum</b>			
<b>Wed</b>	9:15-10:45 <b>Specialized Programme (1)</b>	11:00-12:30 <b>Academic Reading</b>		14:00-16:00 <b>Discussion</b>
<b>Thu</b>	9:15-10:15 <b>Effective Self-introduction</b>	10:30-11:00 <b>Official Talk from Bangor Uni.</b>	11:15-12:15 <b>Presentation</b>	Self Studies
<b>Fri</b>	9:15-10:45 <b>Education in the UK</b>	11:00-12:30 <b>Introduction to Welsh and History</b>		14:00-17:00 <b>Specialized Programme (2)</b>

※Specialized Programme (専門分野プログラム) …学生の研究分野に合わせ、授業や見学トリップを10プログラム前後、実施します。

※2023年度の実施スケジュールをもとにした授業例です。年度により、スケジュールや授業内容に変更があります。

# STUDY ABROAD PROGRAMME 2023 を終えて -英国研修 参加者の声-

☆週末は、ホストファミリーと一緒に、レストランやビーチ等色々な場所に行きました。平日のフィールドトリップでは、お城や古い街並みを見たり、初めてAfternoonteaを体験できたりと、教室の外でも、ウェールズの歴史や文化を学ぶことができました。私はウェールズに来て、人の温かみを日々感じました。朝、バスを降りるときに運転手さんに、「Have a nice day!」と言ってもらえたり、カフェの店員さんが話しかけてくれ、世間話をしたりとフレンドリーな方が多く、お互い気持ちの良い生活を送ることができる環境が素敵で、参加して本当によかったです。



☆ホストファミリーとの楽しい生活や、イギリス観光など、貴重な体験をすることができました。専門分野プログラムではビジネスについて教えていただき、商品やサービスがどのように売れるのかを詳しく学ぶことができ、将来の仕事に活かしたいと思いました。研修を通して英語力が向上し、またそれだけではなく、人との関わりの中で、日本では得ることのできない経験ができました。



☆ウェールズでの生活、授業、フィールドトリップや旅行を通して、英語は実際に話すこと、使ってみることが大切だと改めて気付くことができました。現地で過ごす時間が長くなるにつれて、自分の英語力を試しに来たんだという実感が湧き、困難なことがあってもまず「誰かに聞いてみよう」ということを意識して取り組むことができました。日本に帰国してからも、より一層努力していこうと思いました。

☆学校では、どの先生も自分の未熟な会話力を拾い上げてくれたため、授業を楽しむことができました。英語で、簡潔にかつ文章量を伸ばして、パラグラフが書けるようになりました。ネイティブの先生に、直接添削していただけたのも大変ありがたいことでした。選択授業では料理体験を選びました。ウェールズ出身の先生と、料理を通してコミュニケーションを取ることができ楽しかったです。ネイティブの人との会話以外にも、生活している中で周りの日本語を英訳したり、日本人研修生同士でも英語で話してみたりと、英語に敏感であることを意識することができました。



☆ホストファミリーが初日に、家周辺の街並みを案内してくれ、海辺へドライブにも連れて行ってくださいました。初めてのホームステイで、最初は少し落ち着きませんでしたが、3日もすればとてもリラックスできる場所になり、ホストマザーも大好きになりました。彼女と家で一緒に、日本の特集番組を見たことが印象に残っています。英語力に自信がなくても、友達やホストファミリーがフォローしてくださいます。社会人になったら、めったにチャンスがないかもしれませんので、海外に興味があって「行ってみたい」という気持ちを、ぜひ大切にしてチャレンジしてください。

# STUDY ABROAD PROGRAMMEを終えて 皆さんと過ごした時間 ～ホストファミリー達の声～

## Robertsさん夫妻

みなさんとの時間を非常にエンジョイすることが出来ました。マナーが良く、より多くのコミュニケーションを取ろうと努力してくれました。このプログラムは生徒たちにとって素晴らしいものだったと思うわ。これからもホストファミリーを続けていきたいと思えます。



## Penny先生

交流会ではみんな私たちのために、一生懸命努力してくれました。浴衣もとても可愛らしくてエレガントでしたね。発表は本当に素晴らしかった！



## Michealさん・Hazelさん

皆さんのふるまいは本当に立派です。お家に毎日早く帰ってきて、暇さえあれば必ず私たちホストと話したり、あれあう時間をつくっていました。皆さん同士でも英語でしゃべっていましたね。ドラマ(劇)の授業は特にお気に入りのようで、授業を受けることをとても楽しみにしていました。

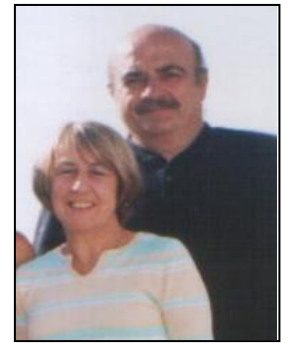
## Richard Vernonさん

修了式、とても楽しかったです。素晴らしかったです。ありがとう。学生の皆さんのプレゼンテーションも面白く、日本の文化を紹介するために頑張ってくれた様子がよく分かりました。けん玉を担当していた男の子には本当に驚いたよ！彼は将来けん玉芸人としてやっていける！



## Robertsさん夫妻

とても気持ちの良い生徒さんばかりです。私たちとコミュニケーションを取ろうと一生懸命努力してくれました。交流会を開いてくれてどうもありがとう。他のホストファミリーに出会ったり、生徒たちにも出会えて、貴重な体験となりました。



## Roz先生

皆さんを本当に楽しく教えることができました。これは、主に皆さんの授業での反応のよさ、そしてさらに重要なことは、皆さんの通常の態度(研修に取り組む姿勢)が非常に良かったことにあると思います。学生がお互いを思いやる態度は、ご家族、また、日本の諸先生方の素晴らしいご指導のおかげだということが伺えます。



## Roz先生のお嬢さん Micaちゃん

交流会はとても楽しく、特に色とりどりの日本のお菓子とお習字が楽しかったです。また、浴衣を着せてもらったのも良かったです。



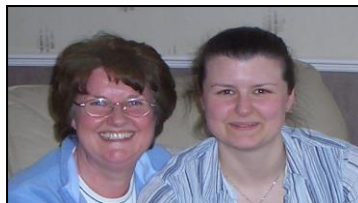
## Jeanさん

いつも礼儀正しくマナーもしっかりとしていましたね。笑うこともたくさん！毎日伝えてくれた時間に帰ってきてくれたので、温かいごはんを準備できて本当に良かったです。



## Shubaさん

とっても楽しかったわ！いつも私たちが気遣ってくれて、非常に礼儀正しい生徒たちでした。茶道や書道のデモンストレーションも素晴らしい！こちらの気候は日本の夏に比べるとだいたい、ぶ寒かったみたいで大変だったようですね。これからは英語の勉強頑張ってくださいね。



## Griffithさん夫妻

どの子もほんとうにしっかりといて礼儀正しくてすばらしいわ！キッチンやダイニングでたくさんお話したわね。



問い合わせ先  
一般社団法人 国際大学連合  
〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町3丁目1-2  
神戸ポートビレッジ4棟201  
TEL: 050-3541-1880 e-mail: info@ifu-japan.net  
HP: http://ifu-japan.net

Organised by

**The Institute of Japanese Studies,  
Bangor University**

**Trinity Foundation Programme**

Trinity Hall, 51-52 High Street,  
Bangor, Gwynedd, LL57 1NR  
United Kingdom

Tel: +44 (0)1248 36 26 86

Email: [admin@trinity-foundation.org](mailto:admin@trinity-foundation.org)

\*このプログラムは英国立バンガー大学日本研究所とトリニティ・ファウンデーション・プログラム（ダブリン大学トリニティカレッジ教養学部）によって実施されます。

\*国際大学連合は、日本事務局として、申込から参加までのすべてのサポートをおこなっております。ご不明な点、ご相談等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

\*研修の様子については、日本事務局ホームページ <http://ifu-japan.net/short-programme-univ/>でご覧いただけます。

【問い合わせ先：日本事務局】

一般社団法人 国際大学連合

**International Federation of Universities**

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町 3-1-2  
神戸ポートビレッジ 4 棟 201

TEL: 050-3541-1880/078-303-6321

Email: [info@ifu-japan.net](mailto:info@ifu-japan.net)

\*ご熟読いただき、内容をご了承の上、お申込みをお願いいたします。

バンガー大学日本研究所／トリニティ・ファウンデーション・プログラム

2024 年度 夏期英国研修

## 実施方針、キャンセル規定について

2024 年 3 月 18 日現在

### 1. 現地で体調を崩した場合の対応について

現地に常駐のスタッフがおります。現地で体調を崩した場合は、ホームステイ先で安静にし、療養していただきます。生活面、必要に応じ医療機関の受診、保護者へのご連絡など、当方スタッフが総合的にサポートします。

### 2. 個人負担となる各種税金について

燃油特別付加運賃・国際観光旅客税・空港税・空港施設使用料は、2024 年 3 月時点では、99,030 円です。最新情報は随時お知らせさせていただきますので、ご理解いただきますよう、よろしくをお願いいたします。当時のレートで、航空券費用等をお支払いいただく際に請求させていただきます。

### 3. 辞退もしくは不催行時の返金対応について

辞退もしくは不催行時は以下のように対応します。

#### ●ご家庭の判断により、辞退される場合

《研修費用返金規定》

※2024 年 6 月 27 日（木）以前の辞退の場合は、第二次金の 80%を返金いたします。第一次金は返金いたしかねます。

※2024 年 6 月 28 日（金）以降の辞退の場合は一切の研修費用を返金いたしかねます。

《航空券費用等返金規定》

※ご入金後～航空券発券前までのキャンセルの場合、航空券費用等及び燃油特別付加運賃・国際観光旅客税・空港税・空港施設使用料の合計金額より 5,000 円を差し引いた金額が返金されます。（旅行会社手数料）

※ 発券後のキャンセルの場合、航空券費用等及び燃油特別付加運賃・国際観光旅客税・空港税・空港施設使用料の合計金額より 35,000 円(航空会社払戻手数料 30,000 円 + 旅行会社手数料 5,000 円)を差し引いた金額が旅行会社より返金されます。

（上記は予定ですので、変更になる場合もございます。）

#### 【重要】

万が一、申込締切後から第一次金振込期日の間にご入金がなく辞退があり、最少催行人数の 25 名を満たない場合は、不催行とする可能性があります。その場合、それまでにご入金いただいている金額は、全額返金いたします。

裏面に続きます。

**\*ご熟読いただき、内容をご了承の上、お申込みをお願いいたします。**

※戦争・テロ・天災・感染症のパンデミックなどの不可抗力が理由で、やむを得ずフライトスケジュール、研修日程、また航空会社の変更がある可能性があります。その際は、旅行代金を見直させていただく場合もございます。可能な限り、皆様に影響が及ばないよう対応致しますので、ご理解いただけますと幸いです。また同理由で、やむを得ず研修を不催行とした場合、不催行とした時期や、現地でのホームステイ・フィールドトリップの手配状況により、研修費用返済が難しい場合もございます。できる限り返済できるよう努力いたしますが、やむをえない場合がございますことをご了承下さい。

※急激なレートの変動により、旅行代金を見直させていただく場合もございます。

※記載の内容は、2024年3月18日時点の情報になります。日本・英国の入国制限および滞在中の制限措置に変更があった場合は、英国研修の方針も見直す可能性があります。その場合は、随時お知らせいたします。



英国立バンガー大学日本研究所  
トリニティ・ファウンデーション・プログラム

静岡文化芸術大学  
2024 年度夏期英国研修プログラム 申込用紙

※一緒にお渡しした「実施方針、キャンセル規定について」を熟読、同意の上、お申込みいただくよう  
よろしく願いいたします。

※ボールペンで記入すること（鉛筆書き不可）

フリガナ： \_\_\_\_\_

参加者氏名： \_\_\_\_\_

学部： \_\_\_\_\_ 学科： \_\_\_\_\_ 学年： \_\_\_\_\_

生年月日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日 性別： 男 / 女

パスポート： 【パスポート通りの名前のスペル】 \_\_\_\_\_

【国籍】 日本 / その他(具体的に \_\_\_\_\_)

【取得の有無】 取得済み / 申請 or 更新予定

※2025年3月22日まで有効なものをご用意ください。

フリガナ： \_\_\_\_\_

住所： 〒 \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

Eメールアドレス： \_\_\_\_\_

日中連絡が可能な保護者（ \_\_\_\_\_ 様）の

電話番号： \_\_\_\_\_